

なな報かづん

40年2月号

【第49号】

発行所

編集発行人

大分県・日田・中津江村報

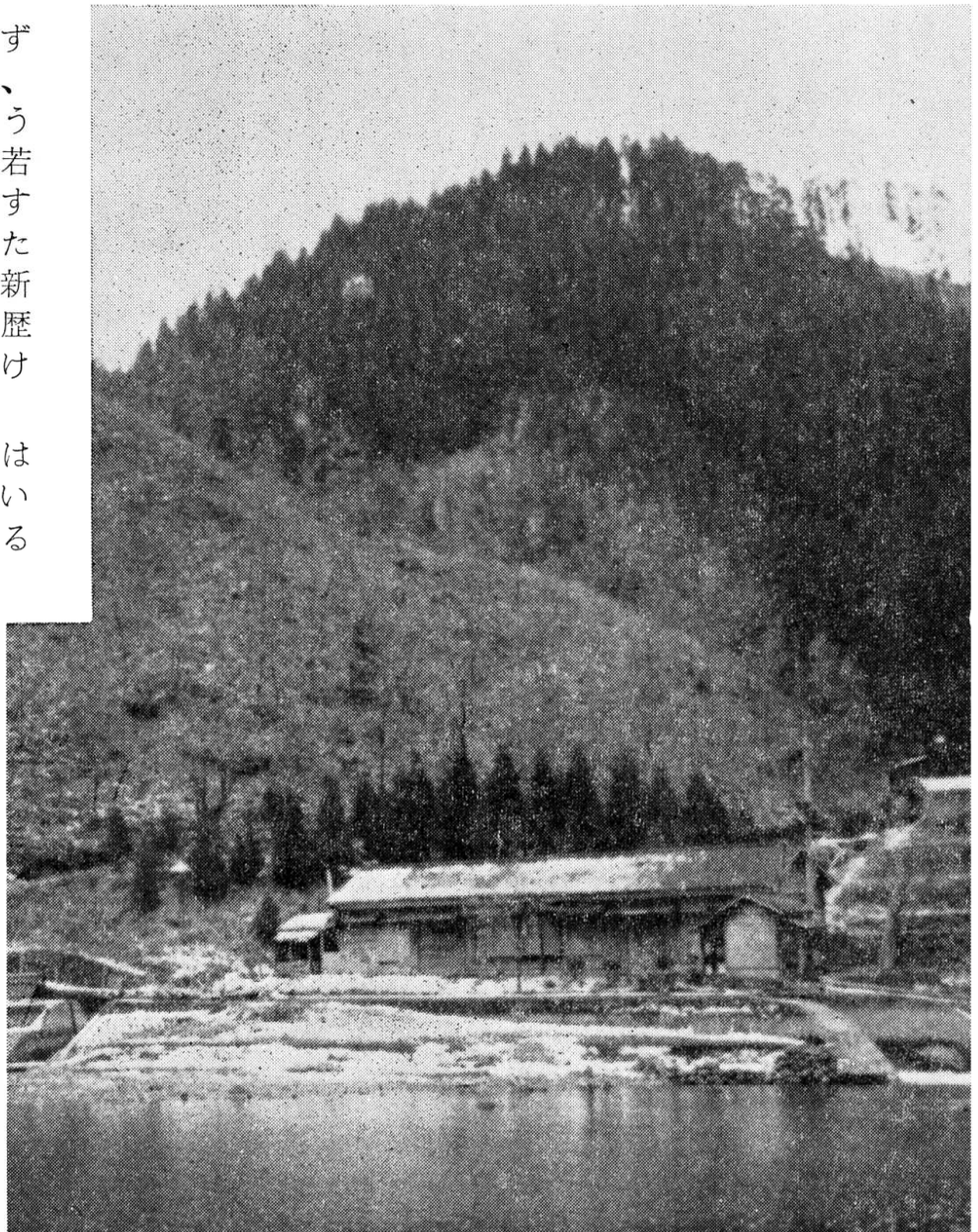
川津一人

「2月」

今年こそはと思つていたのは、ついきのうだつたような気がします、もう30枚余りの曆みをめくつてしまいました。

厳しい寒さもあとわずか麦の芽が頭をもたげ、木ノ芽がほころびるようになると萌えるような若葉の季節がやつて来ます。そうなる人々は冬のたたずまいを終え、再び新しい未来へむかつて、歴史のページをつづり続けます。

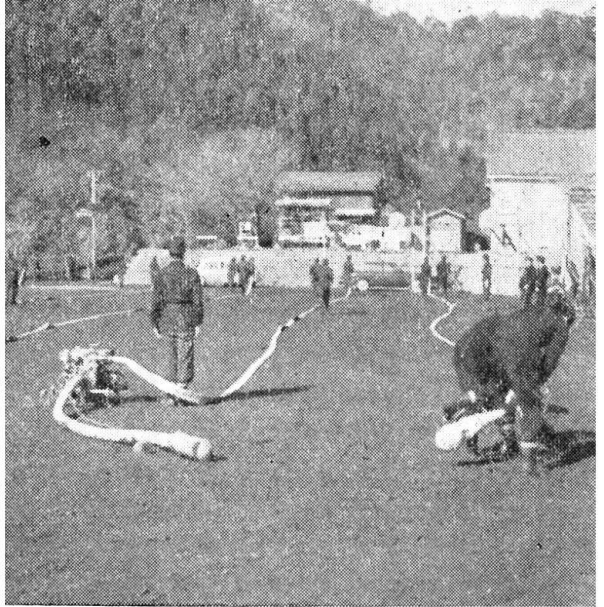
そしてまたこの季節は入学卒業就職と、新しい人生の始まる時でもあるのです。



冬空に舞う12本の水柱

中学校校庭でおこなわれた「中津江村消防団出ぞめ式」は、おりの厳寒のなかではあつたが、厳肅かつ盛大におこなわれた。

式は消防庁長官表賞の伝達や、無火災村の表賞、村長による各種点検から、川辺えん堤においての水勢試験などが行なわれ、冬空の一角に夕日がしずむころ式は終了した。



消防設備は

万全か

一月十七日(日曜日)に中津江中学校の校庭で、中津江村消防団出ぞめ式がおこなわれた。

消防団出ぞめ式

式は、団長以下約一四一人が参列して、村長による人員服装の点検、機械器具操法の点検から分列行進と進められました。このあと川辺えん堤で、本年始めての水勢試験がおこなわれ、冬空の空高く舞い上がった白い水柱は、中津江村消防

団の威容を誇つて、村民を火の魔より守る力強さを見せた。

◆ 近年の火災は石油ストーブや電気、ガスなどの普及により、火災の原因が多くなつています。

本村も最近、プロパンガスの利用者や、冬期には、石油、電気による暖房器の利用者がめつきりふえています。このようなのは、手軽で便利な反面、ちよつとした取扱のあやまちや、消火方法をまちがえると、火災の原因となる危険性もたくさん含んでいます。

◆ 栃原部落の大火以来、

さいわいここ数年間は、火災の年が続いています。が、出火の際、車で行けない部落や、そうとうこみ入った地区で、消火用水となる水に之しい部落、石油ストーブのある家庭でも、消火機の備えがない家庭がたくさんある事実は、たいへん危険なことです。

◆ 本村の消防団も、出火したものを消火することのみでなく、火災の原因から取り除くことへも、力を注いでもらいたいものである。

田島家の美挙

三一五万円を寄付

さきにマサ子夫人を失なわれた田島常次氏は、生前の夫人の遺志を汲まれて、鯛生保育所の改築費に一五〇万円。猪ノ野林道開設に一〇〇万円。外に村内各学校に四〇万円。婦人会に二五万円。計三一五万円を寄付され関係方面から深く感謝されている。

編集室

このことは、すべて一回きりである。一回きりの出遇い一回きりの経験、どんな小さなことも二度とやり直すことはできない。無限の時間の流れの中で、人間はたった一回きりの時間を、刻々に生きているのだ。

◎自分の、いのちを大切にするとすることは、いたずらに長く生きることではなく、刻々を誠実に、悔いなく、力一ぱいに生きることである。このことを永遠に生きるという、永遠の今ともいう。

◎芥川竜之介は「人生は、一行のボードレールにしかない」といつたが、一行の詩に燃焼する詩人の魂に心をよせた芥川の、人生えのきびしさが胸をうつ。

◎われわれは、貧富をとわず公平に「今」を生きても、それは明日の時間でもなく、昨日のそれでもない。現前の「今」である。

「今」を、どのように生きるかが、人生を、いかに生きたかになるのである。お互いに自分の人生を見つめてみたいものである。

(写真説明)
中津江村点検式の模様

◎梅一輪、一輪づつの暖かさ、きびしい寒波の中にもしのびよる春の気配が感じられてきた。

◎その春にそむいて、長い間、人々に親しまれていた田島夫人が急逝された。あんなに元気に、いつもほほえみをたたえて、婦人会の先頭にたつて活躍されていた方が——と思うと、定めなき人の世のはかなさが、痛いほどに感じられる。

◎一期一会——いぢごいちえ——という言葉がある。仏教の用語であるが、人生

ムリな名門校入学は疑問

子どもの能力や

意欲を考えて

優秀生徒の

成績が先細り

高校や大学の入試の日が一日、一日近づく、該当の子どもをお持ちの家庭は、いろいろと心を砕かれています。そこで一月八日「朝日新聞」家庭欄に紹介されました九大教授原俊之氏のご意見を転載して、参考に供します。

越境入学生が多い一流中学校や、はげしい入学試験に合格した優秀な生徒ばかりの中学校などで、高校進学も危ぶまれるような、成績不振の生徒がかなり生ずる事実が、各地で見受けられます。これは中学校に限らず、名門校といわれる小学校や中学校も同様です。

注目すべき国立教育研究所の資料

このようなことになる原因には、さまざまなものがありますが、次の二つがその主なものと考えられる。

一つは、このような学校での授業が、ともすると学級内で知能も学力も優秀な、少数の生徒の学習活動ペースに合わせて

行われやすいことです。教師としても、選ばれた生徒が多いという意識から、比較的優秀な生徒の生徒が混合している学級で行う授業の時のように、それぞれの理解や反応のていどに応じた指導が、おろそかになりがちだからです。

学習内容や指導方法が、優秀な生徒に合わせられると、最初はそれほど優秀の差がなかつた生徒の中に、次第にそのような指導ペースについて行けなくなり、成績がだんだん下る生徒が出るわけです。

自身喪失から来るマイナスは、生徒の側から考えた場合、入学前の学校では、自分の成績や勉強の仕方に、かなりの自信を持っていたのに、名門校では、自分にまさるとも劣らない多くの級友と肩を並べて勉強することになり、今までの自己流の勉強法を調整せざるを得なくなります。この調整に成功したものは、能力に応じた成績を保持し続けますが、調整に失敗した生徒の成績は当然下がります。一度成績の落ちた生徒は、自分の能力に対する自信ばかりでなく、勉強への意欲を失い、ずるずると下位に定着するようになります。

このようにして、普通の学校であれば、自分のペースで余裕を持って勉強し、すぐれた成績をあげていたはずの秀才が、名門校に入つたばかりに、鈍才生徒になる例は少くありません。

後の成績は高校在学中の成績と、高い相関がある事実が明らかにされています。これらの事実を、現役合格者、一年浪人合格者のいずれも大差がありません。この研究は、私たちに多くの問題を投げかけています。名門でない学校で、中学校、高校を問わず、名門校や一流校出身者はすべてその成績が、先細りするとは断言できませんが、ただ名門や一流校に入学しさえすれば、先の心配はないといった安易な気持ちで、子どもの能力や意欲を無視して、名門校入学に狂走することは、よくないことです。

ひとくちコーナ

悪人ぞろい

A氏 「あなたのご家庭では、みんな大変よくいつては、何かヒケツでもあ

波風が立ちません。」

は、みなさんの奇稿によつ

は、みなさんの奇稿によつ



未来からの呼びかけにこたえる

グローバルな
考えで

未来からの呼びかけにこたえたい—愛知文相の就任
第一声のこのスローガンは
すでに一般に知られている
愛知文相は又「二十一世紀
からのよびかけにこたえる
—という表現もしているが
この、未来からの呼びかけ
にこたえる、という発想の
内容はどんなものであろう
か。少しばかり文相の発言
の中から、断片的になるが
引用してみたい。

歴史的な考え方で

「日本人の物の考え方に
うすこし、しつかりした根
強さがなければいけない。
日本の民族には、りつばな
伝統や特色があり、これを
正しく理解した上で、現在
の物の見方を考える。そし
て現在を、よりよくするこ
とで未来につなげる。」

きるようになると思う。
「もう一つは、世界的な
考え方グローバル（世界的
視野）なものの考え方であ
る。日本の中だけで通用
する考え方ではないの
で、世界の動きという大き
な背景の中で、グローバル
なものを考える。」

「現在の設計を考えてい
くところに、希望が生れ方
向が与えられるというので
ある。」

トリツク（歴史的）で、グ
ローバルなものの考え方で
未来からの呼びかけにこた
えようとしたものである」

文相はまた、戦争を前提
としたものの考えをする時
代は去つた、といい、ピジ
ヨンとか夢とか、将来えの
楽しさをがいて、それによ
つて現在の設計を考えてい
くところに、希望が生れ方
向が与えられるというので
ある。」

中津江村教育委員会

(その四)

育すう器と育すう方法

育すう器には箱型とか、
バッテリー（立体）式などが
ある。しかしどちらが良い
とか悪いとはいわれない。
それは季節、羽数などによ
つて異なりますが、小羽羽
では箱型、大羽羽とか一年
に何回も育すうを行なう時
には、バッテリー方式のもの
がよい。

給温方法には木炭、石油

体育すうでは、早期廃温と
いつて、餌付後十五日ほど
で給温を停止する方法がと
られ、よい成績をあげてい
ます。初心者には注意を要し
ます。初心者は注意を要し
ます。各季節の育すう方法とし
ては、今後の養鶏は適正羽
数の確保が先ず必要であり
従来の副業養鶏から一歩前
進した経営が望まれ、これ
によつて育すうの時期も一
二月の寒びなどか、四一
月合いがよく出来るもので
あること。火災の危険性が
少ないもの。適温部の中が
より広いもの。

育すうの最初の要点は、
温度と換気の問題で、季節
によつて外部の気象にそう
とうの開きがあるから、温
必要であります。最も立

母鶏の体温（四〇〜四一度

「次に失敗しやすいのは、

育すうの最初の要点は、
温度と換気の問題で、季節
によつて外部の気象にそう
とうの開きがあるから、温
必要であります。最も立

C)を標準とし、温源部で

「次に失敗しやすいのは、

育すうの最初の要点は、
温度と換気の問題で、季節
によつて外部の気象にそう
とうの開きがあるから、温
必要であります。最も立

必要であります。最も立

「次に失敗しやすいのは、

農協よりお知らせ

「農協初春貯金」を、二月四日まで行い
ます。これは一月二十八日と二月四日の間
に、農協預金をされたかたへ、福引券をさ
しあげることになっています。（定期預
金千円に一枚、普通予金二千円に一枚）
空くじなしで、賞品をもらたくさん計画
しています。福引会は二月五日〜同十五
日までです。
「二月五、六日の二日間」雨グツ長グツ
運動グツの大特売をいたします。
「二月十日」青壮年部総会の開催予定。

税務だより

養鶏の技術と管理

源泉徴収税額の還付をう
けるかたは早目に申告をし
てください。二月二十五日ま
でに申告をされた方には、
特別な場合の外は、二月中
に還付することになってい
ます。また税務署では、二
月八日から十三日までを、
還付申告の相談に応じるよ
うになっています。お気軽
るにご相談ください。
贈与税の申告と納税は二
月中にすましてください。
年間を通じて、贈与を受け
た財産の価額合計が四十万
円を越える者が該当します